

協力して「はざ掛け」

松崎高と
特支分校

棚田で稲作体験

に手分けして作業し

た。生徒たちは棚田保
全推進委員会のメンバ
ーの手ほどきを受けな
がら、運び入れた稲の
束を次々と竹に掛けて
いった。生徒たちはは
ざ掛けのほか、途中で
休憩を挟みながら稲刈
りも行った。



協力して刈り取られた稲の束を「はざ掛け」にする生徒たち＝松崎町の石部の棚田

県立松崎高と、東部

特別支援学校伊豆松崎

分校の1年生が19日、

松崎町石部地区の石部

の棚田を訪れ、農作業

の体験実習を行った。

青空の下で、稲刈りや

天日干しするための

「はざ掛け」を協力し

て行い、心地よい汗を

流した。

地域体験学習「西豆

学」の一環。同高から

28人、分校から9人が

参加し、グループごと

10月20日

伊豆新聞